

野口茂四郎翁 一〇〇回忌法要

皆様、野口茂四郎という方はご存知でしょうか？

十一月十九日、雲林寺本堂にて、「茂四郎トンネル」で有名な野口茂四郎の一〇〇回忌法要が行われました。

川原畑出身の茂四郎は二八歳の時に県議会議員に初当選します。郷土のさらなる発展には道路整備こそ最重要という強い思いから、県議会に「魔の難所」と呼ばれていた道陸神峠の開削案を提出しました。当時、吾妻溪谷を東西に結ぶ道路は狭くて険しかったのです。

明治二十三年、補助金支出が可決されるも、県費だけでは足りず、茂四郎は自己の全財産をなげうって現在の国道一四五号の原形となる野口新道を明治二十八年に開通させました。これによって吾妻溪谷が天下の名勝として世に出ることになります。

茂四郎は第八代目の長野原町町長も務め、長野原町に貢献した人物です。当山本堂に御位牌がありますので機会がありましたら御参りください。

①長野原町かるたでは
群馬の政治家、野口茂
四郎」と読まれており



①



②



③

②国道一四五号の茂四郎トンネル
③法要は総勢一〇名の僧侶で厳かに行われました。当山で初の一〇〇回忌法要となりました。



第56回 梅花流群馬県奉詠大会
主催 曹洞宗群馬県宗務所

11月7日 梅花流群馬県記念奉詠大会



議員さん募集中です！

雲林寺では毎月2回2時間程度ご詠歌（梅花流）の会がございます。参加費無料。ご詠歌は、ご供養の気持ちで心温まるメロディーにのせて歌います。初めての方でも是非お気軽にお越しください。お待ちしております。

第五六回梅花流群馬県奉詠大会が十一月七日高崎市箕郷文化会館において開催されました。今年午後一時からの開会なので早朝の慌ただしさから解放され昼食も議員の皆様とゆっくりバスの中で頂きました。会場に着くといつものように宗務所梅花部青年会の方達の誘導によりホールの中へと移動します。箕郷文化会館は今回で二回目でしたが印象も薄くすっかり忘れていました。が講演さんの中でこのホールを的確に覚えていらした方には脱帽といったところ。今年東日本大震災で支援者三回追善法要も行われ、これからは様々な形で支えを続けて行くことの大切さをあらためて感じた次第でございます。

登壇奉詠曲は達磨大師御詠、達磨大師御詠歌ですが、この曲は上級者の検定曲ということで数ある御和讃御詠歌の中でも難しいとされています。しかし日頃の練習の成果が実ってとて上手にお唱えできました。登壇された皆様が終わった後、お顔の汗を拭いている姿が印象的でした。

清興として「いのちを語る琵琶妙音」と題して薩摩琵琶奏者の関川鶴祐先生をお迎えし、平家物語より祇園精舎、敦盛、壇ノ浦勸進帳、安宅の関とわかりやすい場面を選び一時間に渡っての熱演を鑑賞することができました。閉会式では浄心の独詠に静坐してから全員で同行御和讃をお唱えして解散となりました。



本年もよろしく
お願い申し上げます

- (総代) 会長 萩原昭朗 会計 山口次夫
- 副会長 櫻井芳樹 監事 永井芳司
- 書記 田村守 櫻井輝久
- 黒谷川誠 元 宮崎透

- (世話人) 長野原 安齊たけ 市川儀一 黒岩範一
- 黒岩保男 宮崎広保 山口喜正
- 湯本定由 山崎敷男 小林喜一郎
- 浅見良雄 市村真 黒岩範一
- 櫻井敏雄 塩野英介 櫻井守夫 山口義秋
- 湯本茂 黒岩進 櫻井守夫 山口義秋
- 萩原富夫 金子茂雄 篠原憲一 篠原忠秋
- 小林寛 小林原 篠原憲一 篠原忠秋
- 川原湯・川原畑 豊田清 土屋満洲夫
- 北軽井沢 青木博文 清水忠雄 岩田紀重
- 宮田満 小林一雄 吉田昇 柳沢豊

表彰 宮崎泰地殿

今年八月、第四七回曹洞宗青少年書道展において曹洞宗宗務総長賞を受賞されました。おめでとうございます。



◇ものしりぶくろ◇

「なぜ年玉といふの？」

お年玉の語源は「年(神)の賜り(たまわ)物」といわれます。もともとは正月に子どもにあげる小遣いではなく、年初の贈り物を年末から正月に贈答することが始まったといわれ、江戸時代以後習慣となりました。町家では年玉と称して年賀の挨拶に紙や扇子などを持ち歩き、贈る習わしがあったのです。

では、お年玉が子どもにあげる小遣いになったのはなぜでしょう。それは子を福の神とみなし、子に施すとその余慶が得られると考えられたから、といわれています。

